

令和6年度 甲斐市地域防災リーダー養成講習実施要領

1 目的

地震災害をはじめ、台風や集中豪雨等による災害教訓として、「自助」「共助」による地域防災力の重要性、自主防災組織の必要性が指摘されております。

本市においても、地域防災力の強化が急務であり、災害の発生に備え、自立する自主防災組織の活動を推進するため、防災に対する知識・技能を有し、地域における防災啓発活動や防災対策を積極的に推進できる防災リーダーを養成し、地域全体の防災力を強化することを目的とする。

2 講習内容 別紙「令和6年度甲斐市地域防災リーダー養成講習実施カリキュラム」のとおり。

3 講習日程 別紙「令和6年度甲斐市地域防災リーダー養成講習日程」のとおり。

第1回	5月25日(土)、26日(日)
第2回	6月1日(土)、2日(日)

※第1回及び第2回各2日のうち、受講者が各1日を選択する。

例 第1回は5月25日(土)、第2回は6月2日(日)を選択

4 受講対象者

次の応募種別に該当する甲斐市在住で15歳以上の者。

自治会推薦	各自治会(自主防災組織)から推薦された者。
一般公募	防災に関心があり、自主防災組織の防災活動に積極的に関わることができる者。

5 定員 80名 自治会推薦：各自治会1名 一般公募：若干名

※会場の都合により各日40名を先着とし、超過した場合は他日と調整する。

※応募者多数の場合は自治会推薦者を優先する。

6 申込 申込書を防災危機管理課へ提出(郵送、メール、FAX、ロゴフォーム可)

7 応募締切 令和6年5月17日(金) 締切日の電話による申し込みは17時まで

8 修了証書及び認定証 所定の講習を修了した者に対し、修了証及び認定証を交付する。

9 受講費用 受講費用は無料とする。ただし、講習会場までの交通費、第1回の昼食代等は参加者負担とする。

10 名簿の開示

本講習修了者が在籍する自治会長から請求があった場合は次の項目を開示する。

開示項目：氏名、年齢、住所、連絡先、認定年度

令和6年度 甲斐市地域防災リーダー養成講習実施カリキュラム

項目	内 容	標準時間	単位	備考
講習	災害時における市の対応と現状 【甲斐市役所 防災危機管理課】	30分	0.5	第1回
	被災地における「自助」「共助」 【特定非営利法人 災害・防災ボランティア 未来会 代表 山下博史 氏】	120分	2	第1回
	気象防災 【甲府地方气象台】	60分	1	第2回
	住民の自主防災について事例発表	30分	0.5	第2回
	防災講習 【東京電力パワーグリッド (株)】	60分	1	第2回
	女性視点からの防災 【防災ブレイメン 三枝 則子 氏】	60分	1	第2回
実習訓練	自主防災マップの作成 【特定非営利法人 災害・防災ボランティア未来会 代表 山下博史 氏】	120分	2	第1回
	避難所運営について（避難所運営図上演習） 【特定非営利法人 災害・防災ボランティア未来会 代表 山下博史 氏】	120分	2	第1回
	応急手当（心肺蘇生、止血、固定、搬送） 【甲府地区広域事務組合消防本部】	90分	1.5	第2回
開講式		—	—	第1回
閉講式（修了証書、認定証授与式）		—	—	第2回
	計	690分	11.5単位	

- 講習60分を1単位とし、全て受講した場合11.5単位となる。（開講式、閉講式は含まない）
このうち11以上の単位を取得した者に修了証を交付する。
- 取得単位不足の場合の措置
当該年度に取得単位不足のため、講習を修了できない受講者については、翌年度の講習にて不足の単位を受講することによって講習終了とする。
ただし、2年を経過した場合、受講単位は無効とする。
- 地域防災リーダーの拡充を期するため、本講習の受講は未受講者を優先するが、再受講は妨げない。